

本市への移住・定住を図り、「選ばれるまち土浦」を実現するための重点施策

重点施策

1

未来を創る宝を育む、子育て・教育環境の充実

人口の自然減に歯止めをかけるために、若い世代が「土浦なら安心して子どもを産み、育てられる」と心から実感できる環境を創出します。

事業／予算額

小学校大規模改造事業(屋内運動場棟空調設備設置)／5億851万9000円
市立小・中・義務教育学校の給食費の無償化(継続)／5億4093万1000円
保育所等紙おむつサブスク(定額使い放題サービス)助成事業／1339万7000円
乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)／332万4000円

事業概要

猛暑が続き、児童・生徒の教育環境にも大きく影響を及ぼしており、教育環境の改善を図ります。
全ての市立小・中・義務教育学校における、学校給食費の支援を継続して実施することにより、急激な物価高騰に伴う経済的負担の軽減を図ります。
紙おむつのサブスクリプションの補助開始により、保育施設等利用者と施設職員の双方の負担軽減を図ります。
親の就労を問わずに保育所を利用できる「こども誰でも通園制度」を、4月から認定こども園土浦幼稚園で開始します。



重点施策

2

将来にわたって住み続けたい住環境の整備

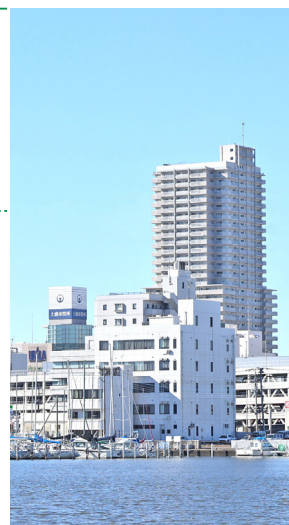
人口を維持していくために、「誰もが住み続けたいまち」、「若者や女性に選ばれるまち」を目指し、それぞれの世代のニーズに即した関連施策をこれまで以上に推進します。

事業／予算額

まちなか定住促進支援事業(継続)／1945万2000円
結婚新生活支援事業費補助金(継続)／294万2000円
わくわく茨城生活実現事業(継続)／1320万円
奨学金返還支援事業(継続)・地方就職学生支援事業／1129万9000円
転入者リフォーム応援事業／300万円

事業概要

新婚世帯・子育て世帯・学生世帯の市外から中心市街地への転入、新生活を始める夫婦の引っ越し、東京圏からの移住にかかる費用を補助し、本市への移住を促進します。
奨学金の返還支援を実施するとともに、就職活動に要した交通費等に加え、就職に伴う転入の引っ越し費用についても手厚い支援を開始し、本市へのUIJターンを促進することで、若者の移住・定住につなげます。
市内の中古住宅を取得し、転入する方にリフォーム工事の費用を助成することで、移住者の増加と既存住宅の有効活用を促進します。



重点施策

3

新たな活力を生み出す企業誘致と産業振興

安定した雇用は、居住地選択の重要な動機付けとなり、企業立地の基盤となる施策の実施を加速させます。

事業／予算額

インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業(継続)／1億2836万3000円
地域地区等調査事業(継続)／4028万7000円
企業立地促進奨励金(継続)／1億9200万円
キャリア形成支援フォーラム開催事業／152万2000円

事業概要

桜土浦IC周辺地区において、組合設立準備委員会の活動を支援し、事業協力者と共に、土地区画整理事業の事業化を進めます。
土浦北IC周辺地区において、地域特性に合った土地利用への誘導を図ります。
市内において事務所等を新設または増設する企業に対し、固定資産税・都市計画税の相当額を3年間交付します。
市内事業所に対し、将来にわたる雇用確保の支援をすることを目的に、就職を意識し始める高校生世代と地元企業が交流する機会を提供します。





「夢のある、元気のある土浦」の実現に向けて

土浦市長 安藤 真理子

私は、市長就任以来、土浦に生まれてよかった、土浦で子育てしたいと誇りに思える「夢のある、元気のある土浦」の実現を目指し、土浦の未来を見据え、一步一步着実に、市政のかじを取ってまいりました。

昨年11月に、100周年を迎えた土浦全国花火競技大会を開催し、多くの皆さまから喜びの声をいただきました。また、つくばエクスプレスの土浦への延伸につきましては、昨年12月に市議会においてTX土浦延伸調査特別委員会を設置いただいたほか、今年2月には機運の醸成を図るシンポジウムを開催するなど、夢を現実に変えるため、全力で取り組んでおります。さらに、土浦スマートインターチェンジ(仮称)の設置については、NEXCO東日本およびつくば市と協定を締結するなど、着実に前進させています。

私は市長として、土浦が抱える課題の一つひとつ解

決するために、さまざまな事業に取り組み、人口減少が全国的な課題となる中であっても、6年連続で転入者が転出者を上回る「社会増」を達成いたしました。社会増という明るい兆しが見えている今こそが、将来に向けた基盤を固めるための好機であると考え、本市の持つ魅力を磨き上げることで、社会増の流れをより戦略的に、力強いものへと加速させてまいります。そして、本市への移住・定住を図り、「選ばれるまち土浦」を実現することが、将来に責任を持てる持続可能なまちを築くための第一歩であると確信しております。

誰もが新しい可能性を感じられる「選ばれるまち土浦」へ、そして、本市が持つ多彩な魅力を最大限に引き出し、今日よりも明日がもっと楽しみになる、希望に満ちた「夢のある、元気のある土浦」を作り上げていけるよう、全力で臨んでまいります。

リーディング
プロジェクト

1

子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり



「かがやけ！土浦の子どもたち」を合い言葉に、未来を担う子どもたちが地域とのつながりのなかで、心身共に健やかに、生き生きと育ち、土浦を故郷として誇りに思うことができるまちを目指します。

1 本市全体の保育の質の向上

事業／予算額	保育所管理運営事業(「特色ある保育」分)(継続)／112万円
事業概要	認定こども園土浦幼稚園と全公立保育所において実施している、特色ある保育につきましては、子どもたちの心身の発達を促すために有効な、体操教室のさらなる拡充を図ります。



幼稚園・保育所での体操教室

2 時代の変化に応じた子育て支援の充実・子育てにかかる経済的支援制度の不断の見直し

事業／予算額	5歳児健康診査事業／370万6000円 不妊治療費助成事業(継続)／320万円
事業概要	乳幼児の健康診査につきましては、新たに5歳児の健康診査を実施し、小学校就学に向け、子どもの特性にあわせた適切な支援を行います。昨年から開始した保険診療と併用できる保険適用外の不妊治療費用の一部助成を継続し、妊娠を望む夫婦の経済的負担の軽減を図ります。



令和7年度
乙戸小学校長寿命化改良工事完成

3 学校施設の環境改善

事業／予算額	小学校・中学校長寿命化改良事業(継続)／9294万5000円
事業概要	小・中学校の校舎と屋内運動場の長寿命化工事を継続して実施することで、学校施設の計画的な環境改善を進めます。



上大津小学校(完成予想図)

4 小学校の適正配置

事業／予算額	上大津地区統合小学校整備事業(継続)／11億5188万円
事業概要	教育環境の維持、向上を図るため、校舎および屋内運動場の工事を進め、令和10年度の上大津小学校の開校を目指します。

リーディング
プロジェクト

2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり



本市の持つ自然環境や歴史文化、れんこんや花火競技大会など、「地域の宝」を最大限に生かして、本市の魅力を創造し、戦略的に発信することで、人口還流を強化し、持続的に発展できるまちを目指します。

1 サイクリングを活用した地域活性化

事業／予算額	水郷筑波サイクリング環境整備事業(継続)／384万3000円
事業概要	本市が世界に誇る、つくば霞ヶ浦りんりんロードを始めとしたサイクリング環境を活用し、全国各地のナショナルサイクルルートと連携を図るとともに、筑波山ろくの山並みを活用したヒルクライムレースを誘致することで、多くのサイクリストの参加を促し、さらなる交流人口・関係人口の増加を図ります。



つくば霞ヶ浦りんりんロード

2 「イベント」資源の効果的活用

事業／予算額	土浦全国花火競技大会開催事業(継続)／8500万円
事業概要	警察をはじめとする関係機関と密接に連携しながら、雑踏警備や観客輸送に万全を期すなど、安心・安全な大会運営の徹底により、大会を確実に開催することで、地域経済の活性化につなげていきます。



上高津貝塚ふるさと歴史の広場
(考古資料館)

3 歴史・文化の継承

事業／予算額	上高津貝塚長寿命化改良事業・ 上高津貝塚再整備事業(継続)／2億2973万5000円
事業概要	平成7年度の開館から30年が経過し、施設・設備面で老朽化が進んでいることから、長寿命化改良工事を行うとともに、最新の研究を反映した展示内容への改装などを行います。国指定重要文化財を始めとした考古資料を次世代に受け継ぐための良好な収蔵・展示環境を整備します。



土浦全国花火競技大会
ワイドスターマイン

リーディング
プロジェクト

3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり



多様化・高度化する市民ニーズを的確に把握し、市民の暮らし満足度を高める取り組みを推進するとともに、産業のさらなる発展を促すことで、本市に住む誰もが暮らしやすく、また、働きやすいまちを目指します。

1 公共交通不便地域の解消

事業／予算額	地域公共交通確保維持改善事業(継続)／9660万9000円
事業概要	コミュニティ交通「つちまるバス」の運行や、「公共ライドシェア」の活用を図ることで、地域公共交通のドライバー不足の解消、運行の効率化に資する取り組みを進め、持続可能な公共交通網の構築を目指します。



つちまるバス乙戸南地区循環
令和7年度 運行開始

2 土浦港周辺地区の土地利用の推進

事業／予算額	土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業(継続)／111万2000円
事業概要	「りんりんポート土浦」の隣接地において、多くの方々が訪れる、魅力ある土地利用を推進するため、茨城県との連携により事業者を決定し、官民一体となって、水辺の賑わいを創出していきます。

3 主要幹線道路などの整備	
事業／予算額	荒川沖木田余線(Ⅱ期)整備事業(継続)／3億4581万1000円 田村沖宿線延伸道路整備事業(継続)／6005万円 木田余神立線街路事業(Ⅱ期)(継続)／3005万円 道路新設改良事業(バリアフリー特定事業)／3億5804万7000円
事業概要	交通渋滞の解消と道路ネットワークのさらなる強化を図るため、荒川沖木田余線について、県道土浦港線から真鍋神林線までの区間において、引き続き4車線化工事を推進します。 田村沖宿線延伸道路と木田余神立線についても、引き続き、事業を着実に進めることで、道路網の強化を推し進めます。 また、長年の懸案事項であった荒川沖小学校前道路の本郷道踏切整備工事に着手するとともに、歩道整備により安全な歩行空間を確保していきます。
4 つくばエクスプレスの土浦への延伸の実現に向けた取り組みの推進・スマートインターチェンジの整備の推進	
事業／予算額	TX延伸事業(継続)／338万円 開発候補地調査検討事業(継続)／6366万7000円
事業概要	TXの土浦延伸構想の一日でも早い実現に向けて、市民の機運醸成に資する活動を強化するとともに、茨城県はもとより近隣市町村との連携も進め、県南地域全体の意識の共有を図っていきます。 あわせて、TXの土浦延伸やスマートインターチェンジ整備などの将来的な交通ネットワークの形成を見据え、新たな開発候補地における事業化の可能性を検討します。
5 農業振興の推進	
事業／予算額	土浦ブランドアッププロジェクト推進事業(継続)／120万2000円 日本一のれんこん産地推進事業(継続)／256万9000円
事業概要	日本一の生産量を誇るれんこんを始め、県の銘柄産地に指定されているグラジオラスなどの花き類、米、果樹、野菜など、本市で生産されるさまざまな農産物の付加価値向上を図り、稼げて儲かる農業の実現を目指します。 特に、れんこんについては、生産者やJA、飲食店事業者などで構成する協議会を中心に、れんこん料理の普及、各種イベントでの販売促進、加工品の開発や観光資源としての活用などを進め、日本一のれんこん産地としての知名度向上と消費拡大を図ります。



田村沖宿線延伸道路



令和7年度 市道I級22号線歩道バリアフリー化



TX土浦延伸シンポジウム



れんこん掘り体験

リーディングプロジェクト **4 安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり** 

自然災害の激甚化や、感染症の流行期などに自然災害が発生した場合の複合災害に備え、ハード・ソフトの両面から災害被害ゼロを目標に、市民の生命、財産、そして生活を守る取り組みを推進することで、市民が安心して暮らせる災害に強いまちを目指します。

1 地域防災力の強化	
事業／予算額	防災拠点・防災設備整備事業(継続)／724万2000円 防災意識普及啓発事業(継続)／206万7000円
事業概要	毎年行っている防災訓練に加えて、5月に茨城県と合同で市民を対象とした避難力強化訓練を実施するとともに、大規模災害に備え、防災資機材や備蓄品の更新を図り、市民の防災意識の高揚と、地域防災力のさらなる強化につなげます。



土浦市総合防災訓練

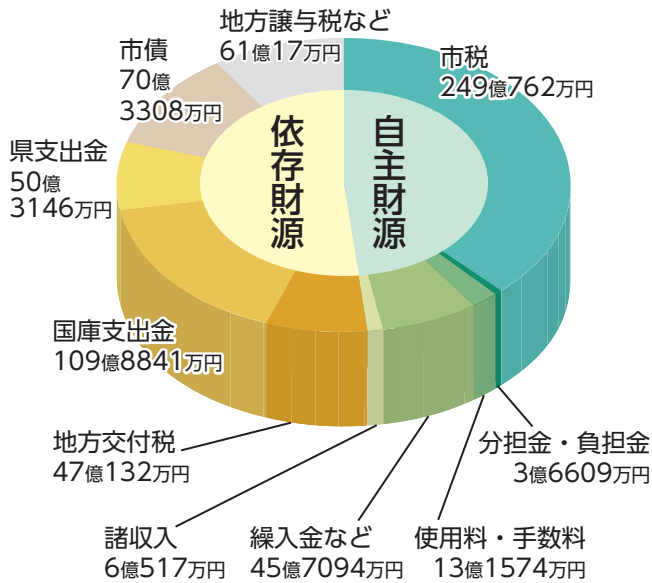
令和8年度 土浦市の予算

予算総額

1089億6000万円(対前年度比7.5%増)

一般会計 656億2000万円(対前年度比12.1%増)

歳入



自主財源は、市税の増やふるさと土浦応援寄附金の増などにより、対前年度比1.4%の増となりました。

依存財源は、公立学校の整備・修繕や、給食費の負担軽減に対する交付金などの増による国・県支出金の増や、地方特別交付金や地方消費税交付金の増などで、対前年度比24.3%の増となりました。

自主財源

市税	市民税や固定資産税などの税金
分担金・負担金	保育料など特定の受益者からのお金
使用料・手数料	公共施設の使用料や住民票発行などの手数料
繰入金など	基金からの繰入金や財産収入など
諸収入	延滞金など、どの区分にも属さないお金

依存財源

地方交付税	財政状況に応じて国から交付されるお金
国庫支出金	特定の事業を行うため国から交付されるお金
県支出金	特定の事業を行うため県から交付されるお金
市債	多額の資金を要する際などに借りるお金
地方譲与税など	国税のうち一部が市に譲与される地方譲与税、地方交付金など

特別会計・企業会計 433億4000万円(対前年度比1.2%増)

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、特定の収入と支出により、一般会計と分離して経理を行う会計です。

被保険者の増で後期高齢者医療保険特別会計の規模は対前年度比14.9%の増となっており、特別会計全体の規模は対前年度比1.2%の増となりました。



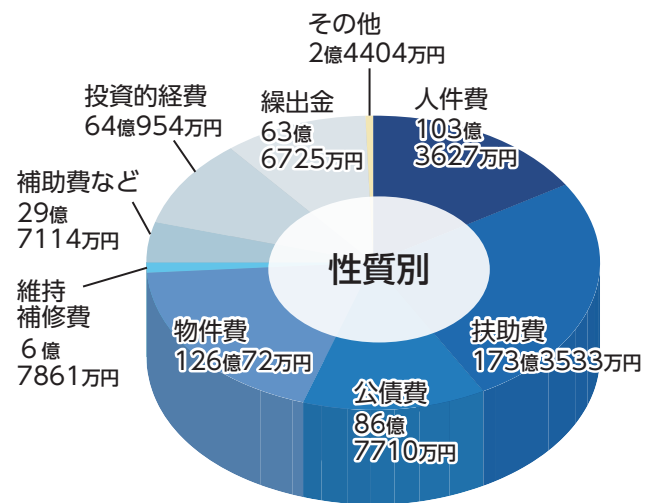
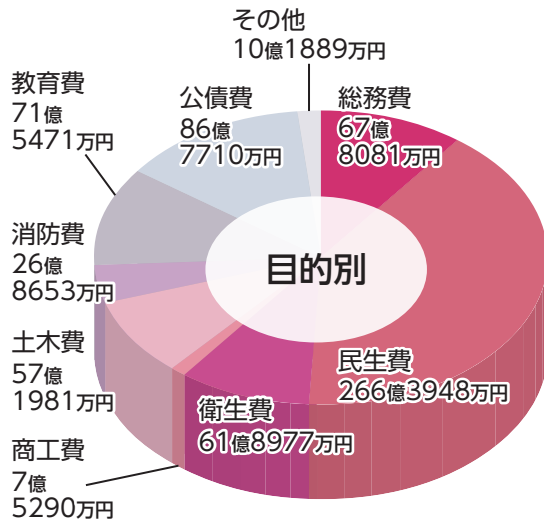
会計名	予算額
公共用地先行取得事業	1億4015万円
駐車場事業	1億5156万円
国民健康保険	127億8566万円
後期高齢者医療	30億6669万円
介護保険	135億9428万円
水道事業	47億3734万円
下水道事業	88億6432万円
計	433億4000万円

令和8年度は、持続可能な行財政運営のため、新たな財源の確保や事務事業の見直しなど歳入・歳出両面から財源不足の縮減に取り組むとともに、社会経済情勢の変化や市民ニーズに的確に対応する「夢のある、元気のある土浦」を実現するための各施策を、効果的に推進する予算配分に努めました。

主な施策は、2～5ページに掲載しています。

☎財政課(☎内線2243)

歳出



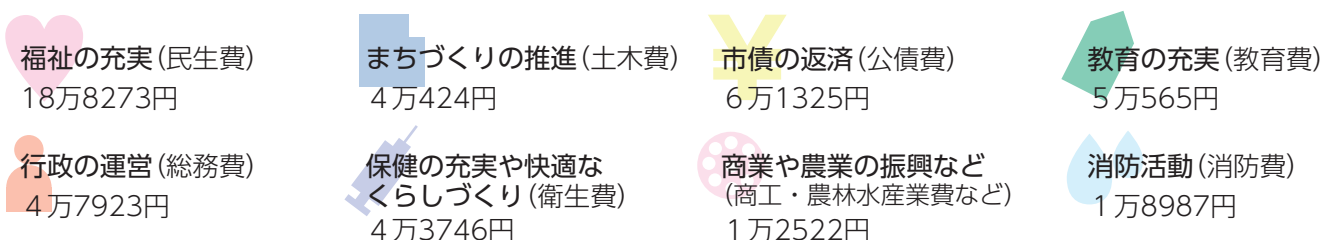
消防庁舎整備事業などの増により、消防費は対前年度比21.8%の増となりました。また、上大津地区統合小学校整備事業などの増により、教育費は対前年度比32.0%の増となりました。

人件費、扶助費、公債費が全体の約半分を占めています。これらは義務的経費と呼ばれ、歳入の状況にかかわらず支出しなければならない経費で、この割合が小さいほど財政の弾力性があるとされています。

目的別	説明
総務費	全般的な管理事務や徴税、選挙など
民生費	高齢者・障害者の福祉や子育て支援など
衛生費	保健衛生やごみ処理、環境保全など
商工費	商工業の振興や観光など
土木費	道路・公園などの整備や都市計画など
消防費	消防団や消防施設整備など
教育費	学校教育や文化・スポーツなど
公債費	借入金の返済
その他	議会費、農林水産業費など

性質別	説明
人件費	職員の給料や手当などの経費
扶助費	子どもや高齢者などを援助する経費
公債費	借入金の返済に要する経費
物件費	備品などの購入経費や委託料、光熱水費など
維持補修費	市の施設などの維持管理経費
補助費など	公益的な事業などに対する補助金や負担金
投資的経費	道路や施設の建設経費や災害復旧費など
繰出金	一般会計から特別会計に支出するお金など
その他	貸付金や出資金など

市民1人あたりの市の予算 46万3765円



※令和8年2月1日現在の人口14万1494人で算出